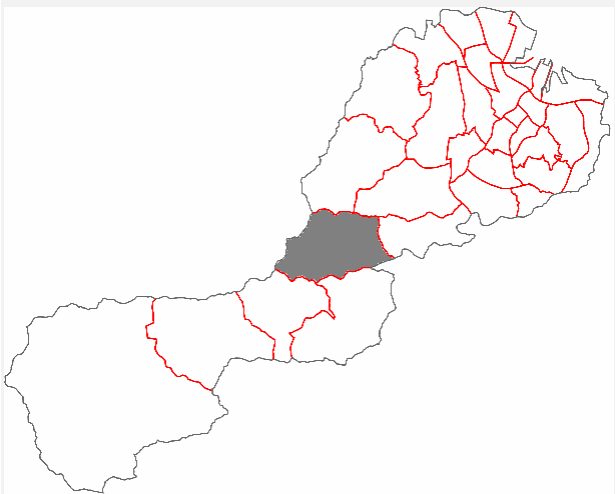


## 28 櫛田川中流柿野地域

### 1 地域の現況と課題

#### 1. 地域の概要

地域の現況		位置図																																																												
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林と集落地を中心としながら、お茶の生産拠点としても位置づけられる地域である。</li> <li>土地利用の大半は山林・原野で占められており、櫛田川周辺の国道 166 号沿道や国道 368 号沿道等に集落と農地が形成されている。</li> <li>飯南産業文化センター、飯南高齢者生活福祉センター等の公共施設が配置されている。</li> <li>また、全国棚田百選に選ばれた深野の棚田、和紙和牛センターなどの景観・観光資源等が立地している。</li> </ul>																																																														
基礎データ		土地利用現況																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">都市計画区域</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>市街化区域</th> <th>調整区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域面積 (ha)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3,511.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人口</td> <td>H.12</td> <td>—</td> <td>2,764</td> </tr> <tr> <td>H.17</td> <td>—</td> <td>2,717</td> </tr> <tr> <td>H.17/H.7</td> <td>—</td> <td>0,983</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">世帯数</td> <td>H.12</td> <td>—</td> <td>847</td> </tr> <tr> <td>H.17</td> <td>—</td> <td>877</td> </tr> <tr> <td>H.17/H.7</td> <td>—</td> <td>1,035</td> </tr> <tr> <td>人口密度 (人/h)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table>			都市計画区域		合計	市街化区域	調整区域	地域面積 (ha)	—	—	3,511.2	人口	H.12	—	2,764	H.17	—	2,717	H.17/H.7	—	0,983	世帯数	H.12	—	847	H.17	—	877	H.17/H.7	—	1,035	人口密度 (人/h)	—	—	0.8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>面積 (ha)</th> <th>構成比 (%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宅地</td> <td>67.5</td> <td>1.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非宅地</td> <td>農地</td> <td>221.3</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>山林・原野</td> <td>3,079.7</td> <td>87.7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>142.8</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>3,443.7</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,511.2</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種別	面積 (ha)	構成比 (%)	備考	宅地	67.5	1.9		非宅地	農地	221.3	6.3	山林・原野	3,079.7	87.7	その他	142.8	4.1	小計	3,443.7	98.1	合計	3,511.2	100.0	
	都市計画区域		合計																																																											
	市街化区域	調整区域																																																												
地域面積 (ha)	—	—	3,511.2																																																											
人口	H.12	—	2,764																																																											
	H.17	—	2,717																																																											
	H.17/H.7	—	0,983																																																											
世帯数	H.12	—	847																																																											
	H.17	—	877																																																											
	H.17/H.7	—	1,035																																																											
人口密度 (人/h)	—	—	0.8																																																											
種別	面積 (ha)	構成比 (%)	備考																																																											
宅地	67.5	1.9																																																												
非宅地	農地	221.3	6.3																																																											
	山林・原野	3,079.7	87.7																																																											
	その他	142.8	4.1																																																											
	小計	3,443.7	98.1																																																											
合計	3,511.2	100.0																																																												
地区別会議における主な意見																																																														
<ul style="list-style-type: none"> <li>仁柿地区では、農地の荒廃が進んでいる。田舎らしい田舎を残したい。</li> <li>飯南産業文化センター周辺には、公共施設が集まっており、地域の拠点となっている。</li> <li>国道 166 号の整備及び歩道の設置、冠水しやすい箇所の改良を進めてもらいたい。</li> <li>国道 368 号仁柿峠バイパスの整備。</li> <li>空き家対策が必要。例えば市営住宅にし、地区の活性化につなげていくことが考えられる。</li> <li>森林の手入れが行き届いていないことから、崩落が発生しやすい。森林の手入れによる土砂崩落の防止が必要。</li> <li>櫛田川浸水履歴地の浸水対策のための河川改修。</li> <li>稲荷山公園から深野の棚田までの一体的な景観・観光スポット化、特産品の茶の活用。</li> </ul>																																																														

## 2. 地域の課題

### (1) 土地利用の課題

- ✓ 地域の土地利用の大半を占める農地・森林の荒廃が進んでおり、森林組合の活用など担い手の確保を含めた保全方策とあわせて木材需要の拡大が必要である。

### (2) 交通体系の課題

- ✓ 国道 166 号には東村周辺に見通しの悪いカーブと交差点が連続する箇所があり、また通学路としても利用されていることから、カーブ、交差点の改良や歩道の設置が必要である。
- ✓ 国道 368 号仁柿峠バイパスの早期整備を促進する必要がある。
- ✓ 集落地内の生活道路は幅員の狭い区間があり、骨格的な生活道路の整備促進が必要である。

### (3) 公園・緑地及び自然的環境の課題

- ✓ 稲荷山公園・和紙和牛センターから深野の棚田までを一体的に環境整備し、景観・観光スポットにすることが考えられる。

### (4) 河川・海岸、下水道の課題

- ✓ 櫛田川周辺の浸水被害の抑制に向けて、櫛田川の良い景観と調和した河川改修整備が求められている。
- ✓ 生活排水に伴う汚濁を防止し櫛田川等の公共用水域の水質を保全するため、合併処理浄化槽の普及促進を図る必要がある。

### (5) 集落地整備の課題

- ✓ 飯南産業文化センター周辺には、公共施設が集積する地域の拠点となっており、現在の機能の維持増進が必要である。
- ✓ 人口減少に伴う空き家の増加が見受けられており、別荘地としての活用や公的な住宅としての活用による定住化等の対策が必要である。

### (6) 安全・安心のまちづくりの課題

- ✓ 中西から東村の付近（パラペット部分）は冠水しやすく、よく通行止めになる。また、住宅の浸水被害も発生していることから早急な対応が必要である。
- ✓ 崩落防止や水害発生の抑制のためにも、担い手の育成・確保を含めた森林の保全が必要である。

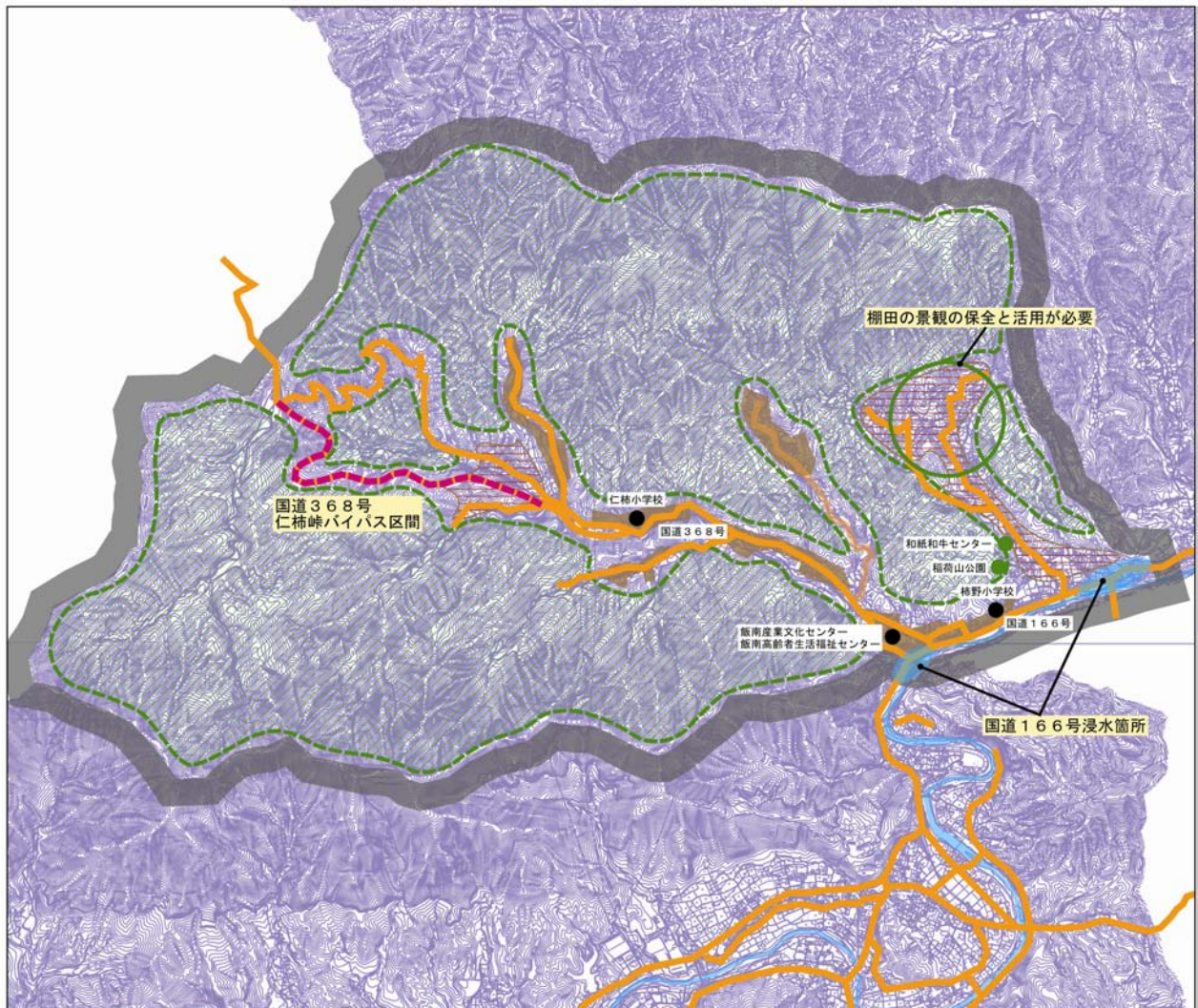
**(7) 景観形成の課題**



- ✓ 全国棚田百選に選ばれた深野の棚田などの景観資源があり、これらの保全と活用が必要である。
- ✓ 稲荷山公園・和紙和牛センターから深野の棚田までを一体的に環境整備し、景観・観光スポットにすることが考えられる。
- ✓ また、自然資源や景観資源をつなぐ遊歩道の整備等のネットワーク化によって、活性化を図る必要がある。

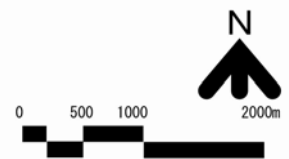
**(8) 観光のまちづくりの課題**

- ✓ 稲荷山公園・和紙和牛センターから深野の棚田までを一体的に環境整備し、景観・観光スポットにすることが考えられる。
- ✓ 特産品である茶・松阪牛の活用を進める必要がある。

● 櫛田川中流柿野地域 地域別整備課題図



-  集落地としての生活環境を高める必要性が高い地区
-  農地として保全する必要性が高い地区
-  森林として保全する必要性が高い地区
-  主な道路
-  バイパス整備及び改良区間
-  主な公園・レクリエーション施設
-  主な河川・水面
-  地区区分界



## 2 地域別構想

### 1. まちづくりの目標と主要な柱

飯南産業文化センター等の公共施設の立地や豊かな自然環境を生かした定住性の維持増進を図る。また、全国棚田百選に選ばれた深野の棚田、気軽に登れる山として登山客に親しまれている白猪山などの景観・観光資源の活用、お茶の生産拠点の増進などを通じて、自然とくつろぎの里づくりをめざす。

#### ○まちづくりの主要な柱

集落環境の保全
景観資源・観光資源の活用
農地の保全
森林の保全

### 2. まちづくりの基本方針

#### (1) 土地利用の方針

- 飯南町深野、横野、下仁柿、上仁柿などに「集落環境保全地区」を配置する。
  - ✓ 増加が見られる空家は、別荘や公的住宅としての活用の検討に努める。
- 周辺を取り巻く森林は引き続き「森林保全地区」として配置する。
  - ✓ 荒廃が進む森林は、森林組合の活用など担い手の確保を含めた保全に努める。
- 集落地周辺の農地は「農地等保全地区」として配置する。
  - ✓ 茶園を含む農地は、茶の生産拠点として適切な茶園の更新整備の促進等に努める。

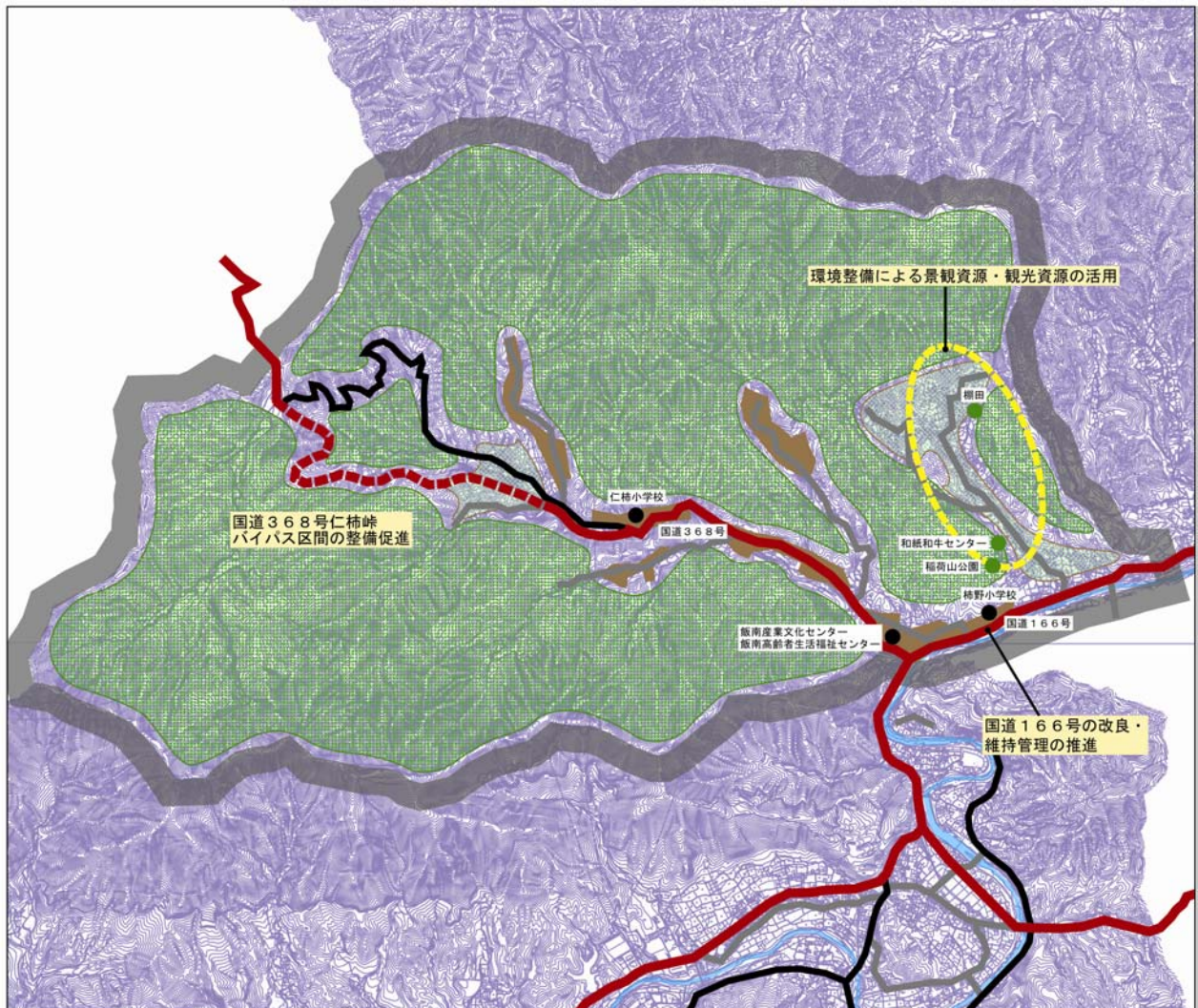
#### (2) 都市施設及び地区施設等の整備方針

- ✓ 国道 166 号は、見通しの悪いカーブや交差点の改良、歩道の設置などの整備促進に努める。
- ✓ 国道 368 号仁柿峠バイパスの整備促進に努める。
- ✓ 緊急車両の進入及び避難経路の確保に配慮した骨格的な生活道路の整備促進に努める。
- ✓ 浸水被害の抑制に向けて、櫛田川の良好な景観及び自然環境に配慮した河川改修を促進する。
- ✓ 合併処理浄化槽の普及促進による櫛田川の水質保全に努める。

### (3) 地域環境等の保全に関する方針

- ✓ 幹線道路である国道 166 号の冠水区間の解消に努める。
- ✓ 崩落防止や水害発生抑制のためにも、担い手の育成・確保を含めた森林の保全に努める。
- ✓ 全国棚田百選に選ばれた深野の棚田などの景観資源があり、これらの保全と活用に努める。
- ✓ 稲荷山公園・和紙和牛センターから深野の棚田までを一体的に環境整備による景観・観光スポット化の検討に努める。
- ✓ 自然資源や景観資源をつなぐ遊歩道の整備等のネットワーク化の検討に努める。
- ✓ 特産品である茶・松阪牛の振興促進に努める。

● 櫛田川中流柿野地域 整備構想図



記号	凡 例	記号	土 地 利 用
	広域幹線道路		低層住宅地
	幹線道路		中低層住宅地
	補助幹線道路		一般住宅地
	主な生活道路		住商複合地
	鉄道・駅		近隣商業地
	主な公園・レクリエーション地区		商業地
	主要公共施設等		商工複合地
	主な河川・水面		住工複合地
	市街化区域界		工業地
			集落環境保全地区
			農地等保全地区
	地区区分界		森林保全地区

